

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(6/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアヘッドクォーター特区 (東京都)	正	3.8	4.5 進捗度 ・多国籍企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 100% ・その他多国籍企業の誘致数 150%	2.8 規制の特例等 ・ビジネスジェットの使用 手続簡略化 等 地域独自の取組 ・外国人生活環境整備支援補助金 ・ビジネスコンシェルジュ事業 等	4.0	<p>・取組は進捗している。例えば、ビジネスジェットの利用回数は増加しており、トップレベルの交流も進展している。</p> <p>・新規都市開発事業、国際事業の立地等で成果を上げているが、金融支援や税制支援の活用がない中で具体的な政策効果があったことを確認できない。特区の活用よりも、民間活力による成果と考えるのが妥当であろうか。</p> <p>・取組は進捗しているが、東京都の実力からすると、目標の設定が甘いのではないか。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。